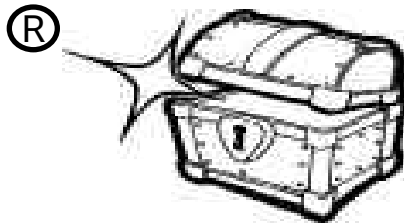


# なかま ぼっくす



情報番号 7404 #

発行番号 hp-4-6-7404

\*情報番号7403 # と共にご覧下さい。

## PLABELで少数多品種のラベルをカラフルにコストダウン

ピールラベルは、パソコン接続の単色ラベルプリンターを使用して、少数多品種の工業製品向けカラー表示のラベルを、オンデマンド製作できるフィルム基材（ラベル紙）です。

用途として、特別な色指定のある企業のロゴマーク・識別区分け用のカラーマーク・説明などの要点指示・写真やイラストの背景色・警告ラベルのセフティカラーなど、従来のやり方ではコスト高になってしまう複数色で表示が必要なラベルを製作するのに最適です。

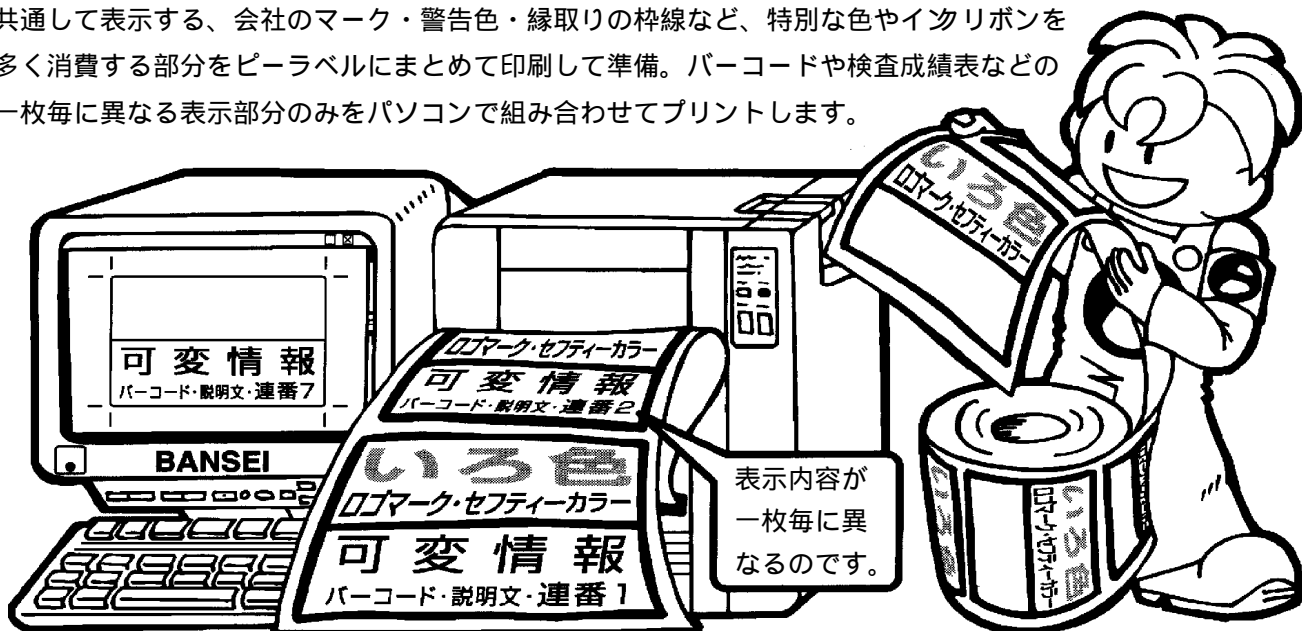
## プレプリント加工するラベルデザインのヒント

デザインの基本としては、ラベルの内でロゴマークや背景色など、共通して多く使用されるカラープリントの部分を、あらかじめピールラベル基材に分離プレプリント（前準備印刷）しておき、製品名・製造番号やバーコードなど必要最小限の可変情報表示部分のみを、単色のラベルプリンターでプリント組合せ表示して、ローコストでカラフルなラベルに仕上げます。

つまり、量産印刷加工と少数ラベルプリントを分離製作することによって、少数多品種のラベル製作をカラフルに仕上げ、かつ、コストダウンするラベルの社内製作手段なのです。

このことから、ピールラベル基材ラベル紙は全てオーダー毎の製作となりますので、導入に当たってはカラー印刷する共通部分と黒色など単色でプリントする可変情報プリント部分を、あらかじめ分離できるデザインにして準備（アドバイス致します）する必要があります。

共通して表示する、会社のマーク・警告色・縁取りの枠線など、特別な色やイクリボンを多く消費する部分をピールラベルにまとめて印刷して準備。バーコードや検査成績表などの一枚毎に異なる表示部分のみをパソコンで組み合わせてプリントします。



以下にピールラベルを使用してラベルを社内製作する、より効率的なコストメリットを得る為のヒントなどを実際にプリントしたラベルサンプル（別紙：情報番号 7403 #）の記号を基に説明します。

基本的には量産する共通カラー部分と、単色の可変情報部分を如何に割り付けデザインしておくかがポイントですので、より見栄え良く応用範囲の広いラベル表示にご利用ください。

## (A) ラベルの大きさ？

ここで言うラベルの大きさは、貴社で用いるラベルサイズを何種類に絞り込むかです。とにかく便利なプリンターを導入したので、いろんなサイズで・・・の例がよくありますが、実際には一部署4～5種類のサイズでも間に合うようです。

例えば、ラベルが縦長と横長のデザインであっても大きさが近い物の場合、プリンターやアプリケーションソフトで対応できるなら、ラベル送り方向は短い辺側にしてデザインする事で、インクリボン幅が同じならリボン使用量が少なくすみ、用途によってはラベル紙の種類も半分で済みます。なお、サプライとしてのピ=ラベルは、使用頻度の高いサイズが多く標準化してありますので、その中から選択すると経済的で短納期が計れます。( \* 警告ラベルや製造銘板類は、標準サイズから選ぶ事で各種規格などと整合し易くなります。 )

## (B) プrintの色？

ズバリ、ラベルのプリントコストを下げるにはピ=ラベルでカラー部分を前印刷しておき、インクリボンは黒一色でプリントです。、更にリボンの使用量を徹底的に減らすのであれば、リボンセーブ機能の付いたプリンターを使用する事です。しかし、ラベルプリンターの普及に伴いインクリボンは安くなってきていますので、あえてサプライのコストに拘るよりも、プリンターの印字品質や印字速度の方を優先して考えた方が有利かも知れません。例として、7403# 貼付見本の「ちゅうもく」ラベルの場合は、黒色だけがプリンター印字で他のカラー3色はプレプリントしたモノです。

( \* 枠とベタ部分などの隙間や重なりに配慮が必要です。 )

ともに解決したい・・・が？



## (C) 文字の大きさ？

ピ=ラベルはラベル紙の表面が、写真や細かな文字も鮮明にプリントできる様、平滑に仕上げてありますので、前印刷したどの部分にでも重ねて鮮明にプリントできます。しかし、見本にある「アイデアのたいきちゃん」の文字例のように、明朝体系の書体では、(注意)の例ほどに大きい文字にしても鮮明には表現できませんので、警告表示などでは特に注意が必要です。

ちなみに写真下の「やさしさの・・・」文字は「アイデアの・・・」と同じサイズ6ポイント(約2ミリ)です。

( \* 見本の明朝体の文字は、大きさと書体の比較参考用として使用してあります。 )

## (D) 写真やイラストなどと背景色？

ピ=ラベルは、特別な色指定された会社のロゴマーク、取扱い説明書や注意表示、イラストによる要点指示色、写真に淡い色を被せる背景色など、プレプリントしてあるカラーのどの部分にでもプリンターで重ねてプリントでき、そのどの部分でも耐擦過性などの耐久性が良好ですので、後からプリントするデザイン内容は自由に配置できます。

また、警告表示の様に基本的な割付やカラーが共通で、指示メッセージを日本語や英語に変更したり、警告内容が製品毎に変わったり、それに付随するピクトグラフを選ぶなど、表示内容が変わる部分とそうでない部分を加味した社内基準作りも大切です。

( \* 開発製品の展示会発表やサンプル輸入品の取扱説明など、非量産製品の表示にも欠かせません。 )

### ( E ) 連番やバーコードと区分け色？

ラベルのオンデマンド印刷一番のメリットは、なんとと言っても連続番号やバーコードなど、可変情報のプリントにあり、これからもどんどん発展していくのは確実です。

しかし、ここで問題なのはバーコードを人間の目で読んで理解できない！？・・・当たり前なのですが・・・故に必要となってくるのが製品別・担当・部署・工場毎など、大まかに人の目で識別できる方法・・・つまり色別しかないのですが・・・従来はコストが問題でした。

この問題は、どんな色でも表示できる **ピ**ーラベルで解決なのですが、バーコードなど読みとり装置にかけるモノは、たとえ淡い色でも背景に色があると誤動作の原因になりかねません。色による識別が必要な場合はこの例の様に枠で囲むなどで、識別するのが無難です。

( \* 色彩はご希望の色でプレプリントできます。色見本や色記号などでご指示ください )

### ( F ) 組み合わせのサイズと内容？

**ピ**ーラベルのプレプリント(前準備印刷)は全てオーダー製作ですが、標準サイズ内のものであればロール1巻からでも、ご希望のデザインでプレプリント加工のご注文をお受けします。

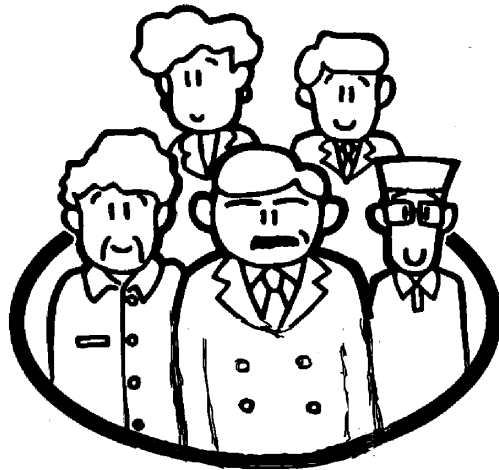
しかし、一般の印刷物と同様に製版などの初期費用は注文製作数が多くても少なくも殆ど変わりませんので、社銘板・警告表示・取り扱い説明書・管理用ラベルなど、基本的なデザインが変わらないものについては、なるべくまとめて製作して更にコスト低減を計ってください。

( \* 工業製品の表示ではJIS/ISO規格の整合とかANSI規格の98年大改訂などの様に、これらの変化や急な仕様変更などで即座に対応出来るのは、可変情報のプリントと**ピ**ーラベルのプレプリント加工の組み合わせです。 )

### ( G ) 衝動買いせずに、社内のラベルの標準化です。

担当部署内で必要としているラベルで、ごく少量しか使わない物・製造番号やバーコードの様に一枚毎の可変情報が必要な物・取り扱い説明書や警告ラベルの様に製品や状況に合わせて表示内容の変更が必要な物、そして、試作や開発部門に必要なラベルサイズなどを良く調べ、まず、ラベル表示の社内規格や標準を作成してください。

この場合、従来から使用しているラベルの使用状況を調べると共にJIS-Z8304規格(銘板の設計基準)やPL警告ラベルデザイナーズマニュアル(情報番号2110#・ANSI規格)などを参考に、ラベルサイズの社内標準化とサイズの絞り込みを慎重に行ってください。



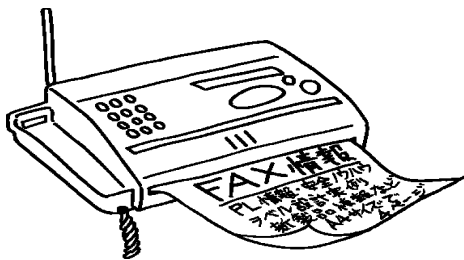
皆さんの希望をよく聞いて・・・  
後で泣くのは・・・貴方!?

\*ラベル内製する上でこの作業が最も大切であり、ここでしっかり決めておきませんと後々までコストに影響する事になるのは皆さん分かっているのですが・・・我々の部署では？この製品だけは？デザイン上認め？・・・めんどくさい！縦横5ミリ毎で揃えておけば応用が利く・・・で、永久に使わないサイズまでが社内基準に備わりますので・・・  
どうかご注意ください。





インターネットの時代に・・・  
しかし、マウスがこわ～い  
方にはコレが一番なのです！！



## (H) 情報の把握が大切です。

バーコードや連番印刷などの他、カスタムオーダーの製品に貼付するラベルなどの様に、一枚毎に異なる内容のラベルデザインからプリント迄、いわゆる「可変情報表示」は、ますます厳しい品質保証が求められるメーカーに於いて、欠かす事のできないものになっています。

この様なことからラベルユーザーの声や生産現場の悩みを基に、柔軟に対応できるラベル製作システムとして $\pi$ -ラベルが開発され、それらに対応できるようになりました。

しかし、ここで大切な事は例えラベル一枚と言えども「可変情報に対応する体制」があるならば、その状況変化に即応できる様に・・・「関連情報把握」も必要と言うことです。

『なかまばっくす』FAX情報サービスでは、これらに関する変化やヒントの情報提供に努力しています。

特に、これからラベルの社内生産(内製化)を計画したり、従来から使用しているラベル仕様をグレードアップするユーザーの為に、表示や生産の話題と資料を無料FAX情報で多く提供するなどのほか、 $\pi$ -ラベルのプレプリント加工を応用する際のヒントや今まで諦めていたかも知れない「できること・できないこと」の説明など、とにかく「造る・売る前の情報」を積極的に提供しています。

## お 願 い

$\pi$ -ラベルは、プレプリントしてあるカラーのどの部分にでも重ねてプリントでき、耐擦過性などの耐久性も良好ですので、それらの特性を生かす為にも東北リコー(株)製IP48Winプリンターのインクリボン は、必ず指定のものを使用するかテストプリントしてからご使用ください。

また、IP48Winプリンター以外の既設ラベルプリンターなどで検討される場合は、プリンターを実際に使用しているご担当者に直接テストサンプルを提供致しますので、ご使用中の機種名とインクリボン名などをお知らせ下さい。( \*プリンタを使用しているご担当者と直接、仕様や技術的打ち合わせが必要ですので、代理の方、及び、プリンターをお持ちでない方にはサンプル提供はできません。 )

$\pi$ -ラベルに関する資料や情報の一部は以下の通りです。

お手元のFAXから03-5751-7070にダイヤルして、音声案内に従って操作して下さい。

$\pi$ -ラベルを使用して表示できる実例と見本説明・・・・・・・・・・情報番号7403#

$\pi$ -ラベルにプリントするための推奨プリンター・・・・・・・・・・情報番号4885#

カラーコピーをベルを作った場合の注意と耐久性・・・・・・・・・・情報番号 8850#

ラベルを社内製作するための検討事項・・・・・・・・・・情報番号7402#・7361#ほか

警告表示デザインのマニュアルの紹介・・・・・・・・・・情報番号2110#・8345#ほか

ラベル表示の考え方に関する話題・・・・・・・・・・情報番号7342#・8346#ほか

ラベル表示の耐久性や試験規格に関するもの・・情報番号6340#・7343#ほか

この他表示に関する情報が多くあります。70#総合メニューの中から選んで下さい。

お問い合わせやご相談は・・・電話：03-3787-8061・・・有限会社バンセイまで。